



平成30年度SGH研究発表会を開催しました！



2月9日(土)、能勢町浄るりシアターにて、「平成30年度 能勢高校 SGH 研究発表会」を開催しました。平成27年度に文部科学省より SGH (スーパーグローバルハイスクール) の5年間の指定を受け、『グローバル人材の育成』をテーマに掲げ、研究に取り組んできました。指定4年目となる今年は、『グローバルな視点から 能勢町の地域課題解決』をテーマに、8月には8名が『貧困とストリートチルドレン』についてモンゴルで、5名が『鳥取県での地方創生を能勢町に活かす』について鳥取で実態調査を行い、自分たちの目で見、考え、調べたことともに発表会に向けて課題研究を進めてきました。

また、1年生3名は『シュタットベルケを成功させるために一人ひとりが暮らしやすい能勢町作り』について、昨年1年間マレーシアへ留学していた3年生1名が『マレーシア留学から見た多様性について～能勢町でのハラルビジネスを考える』について発表しました。当日は、能勢町の方だけではなく、府外からも多くの方に見に来ていただき、感想やアドバイスをいただきました。

すべての発表が能勢町の活性化策を提案するものであり、今後、能勢町でこの提案が実現されることを期待しています。



マレーシアへ修学旅行に行ってきました！

1月27日(日)～31日(木)の5日間、能勢高校2年生がマレーシアへ修学旅行に行きました。空港では、昨年短期留学生として能勢高校と一緒に学んだイマン君が出迎えてくれるという、嬉しいサプライズがありました。翌日の訪問地へも一緒に同行してくれ、心強いガイドとなってくれました。

2日目は、UPM (プトラマレーシア大学) を訪れ、獣医学部と動物解剖学博物館を見学し、生体分子科学施設では菌類の観察をしました。その後、チョコレート工場とバツー洞窟へ向かいました。

3日目は、この修学旅行のメインイベントでもある姉妹校アスンタ高校を訪問、交流しました。修学旅行の準備として、事前にアスンタの生徒とメール交換をして交流を深め、事前学習ではマレーシアについての多くのことを学びました。当日は盛大な歓迎を受け、交流式典が行われました。能勢高生徒は

SGH 発表、空手、人形浄瑠璃、ダンスを披露し、アスンタ生徒からは各民族の伝統的な舞踊が披露されました。最後に、ボルネオの民族ダンスをみんなで一緒に踊り、盛り上がりました。一緒に学校のカフェテリアで昼食をとった後、午後はクアラランプール市内をアスンタ生徒に案内してもらい、街歩きやセントラルマーケットでのショッピング交流を楽しみました。夕食パーティーをホテルで行い、アスンタからはダンスと寸劇、能勢高校からはダンスと日本伝統芸能である紙芝居を披露しました。最後は、両校生徒が輪になって、大盆踊り大会となりました！12時間におよぶ交流でしたが、あっという間にお別れの時となり、みんなでバスを見送りました。またいつか会えますように…。

4日目はイスラム教寺院のピンクモスクを見学した後、街全体が世界遺産である古都マラッカを訪問しました。オランダ広場やセントポール教会など、キリスト教文化が自然に街に溶け込んだまさにマレーシアの歴史と文化を象徴する街でした。マレーシアの文化や多様性を肌で感じる事ができました。アスンタ高校生とのたくさんの思い出を胸に、帰国の途に着きました。



オイスカマレーシアの高校生が来校しました

12月14日(金)から16日(日)まで、オイスカマレーシアの高校生18人と先生5人が、能勢町でホームステイしました。ホストファミリーは、本校生徒や能勢町近隣の地域の方々です。この交流プログラムは、能勢高校が国際NGO オイスカに協力する形で毎年実施しているものです。

14日(金)能勢高校到着後、歓迎セレモニーを行い、本校からは空手の演武を、マレーシア生徒からは伝統武道「シラット」の舞踊を披露しました。本校での昼食後、オイスカ高校生はささゆり学園を訪問し、小学2年生の英語活動に参加しました。お互いに英語で自己紹介をした後、お手玉やけん玉、書道などの日本文化体験と一緒に楽しみました。その後能勢高校に戻り、ホストファミリーと対面し、それぞれの家へ向かいました。

翌日15日(土)は、能勢高生徒16名と京都ツアーへ出かけました。能勢校生徒はマレーシア生徒を英語でガイドし、嵐山や清水寺などを散策し、充実した一日となりました。

マレーシアの生徒は日本文化を学び、能勢高校生と小学生は、英語でマレーシアの文化に触れることができた貴重な機会となりました。



恒例の耐寒遠足を行いました！

2月9日（金）、耐寒遠足を行い1、2年生全員が参加しました。9時に学校を出発し、歌垣農協前→歌垣山山頂→堀越峠→妙見奥の院→真如寺→仏坂から学校に戻る約9Kmのルートです。途中の歌垣山では山頂に向けて急坂の山登りとなり、寒さも吹き飛び汗をかくほどでした。12時前後に全員がゴールし、PTAの皆さんがドラム缶と薪を使い、大鍋で料理した豚汁をいただきました。能勢の歴史と自然を感じることでできた一日となりました。



能勢高生と小学生が『元気ひろば』で交流しました！

能勢町子どもの居場所づくり事業として開催された「冬休み！元気ひろば」の運営補助ボランティアとして、能勢高校生6名が活動に参加しました。12月25日（火）と1月7日（月）の2回開催され、80名以上の能勢小学生が参加し、能勢高生が宿題のサポートなどを行いました。時間が経つにつれ、お互いに緊張もほぐれ、楽しんで活動することができました。能勢町の小中高一貫教育ならではの風景でした。



SGH スーパーグローバルハイスクール

里山保全フィールドワーク@能勢に参加しました

12月2日（日）、1年GS受講生5名と2年SG受講生徒11名が、能勢の里山保全フィールドワーク「山のサムライからのメッセージ」に参加しました。代表の小谷義隆さんより、炭窯の前で菊炭の説明を受け、能勢の菊炭が茶道などの日本文化に大きく貢献していることを学びました。次回は4月に荒木谷でクヌギ苗を植樹する植樹会に参加します。

全国高校生フォーラムに参加しました@東京国際フォーラム

12月15日（土）、東京国際フォーラムで行われた「全国高校生フォーラム」に、2年SG受講生3名が参加しました。全国から集まった高校生の前で、これまで研究してきたことをポスターにまとめ、英語で発表しました。また、他校が行う発表を見ることができ、大いに刺激を受けました。

地域創造サミット2018@三重県鳥羽市に参加しました

12月26日（水）～27日（木）、三重県鳥羽市で開催された「地域創造サミット2018」に、1年GS受講生徒3名が参加しました。昨年に続き、2回目の参加となりました。『鳥羽市を活性化させるには』をテーマに、他府県からの高校生と一緒にフィールドワークに行き、話し合い、最終的には鳥羽市長へ提言を行いました。このサミットを通じて、能勢町でも活かせる地域創生について学ぶことができました。

「マレーシア留学を終えて」3年齊藤依乃里さん



私は、昨年の1月末から11ヶ月間、マレーシアに留学しました。最初の8ヶ月はインド系、残りの3ヶ月間はチャイニーズ系のホストファミリーの家にステイしました。マレーシアは多民族国家でマレー系、チャイニーズ系、インド系、他にも沢山の民族がいるので、学校では沢山の言語が飛び交っていました。留学を通して、語学だけでなく沢山の新しい価値観に触れ、それまで知らなかったことを学ぶことができました。問題が起きたときも自分で解決しなければいけないことも多くありましたが、そのおかげで成長できたと思います。

タイ留学生、カオファンが帰国しました！



昨年より1年間タイから能勢高校へ留学し、2年生と一緒に学校生活を送っていたカオファンが帰国しました。能勢 歌垣の平岡さん宅にホームステイし、高校生活を送っていました。同級生と一緒に授業を受け、また、日本語ボランティアの方々による日本語授業を受け、また、SGHにも毎回参加しました。

クラブ活動では空手道部、弓道部、茶道、華道部、書道部に所属し、日本文化をたくさん学びました。また、能勢小中学校で英語活動に参加し、能勢町でタイについて紹介をする機会が沢山あり、積極的に活動していました。1月末には2年生と一緒にマレーシア修学旅行にも参加し、最後に良い思い出ができました。

お別れの日、空港には生徒をはじめ先生方、ホストファミリーのみなさんなど、多くの人が見送りがあり、その中を笑顔で帰っていきました。またいつか会える日を楽しみにしています！！



直筆メッセージが届きました◎

能勢高校の皆さんへ

この10ヶ月本当にありがとうございました。

能勢高校に来て色々な経験できてとても楽しかったです。

僕は初めて学校に行った時何も分からなくて緊張しました。

でもすぐ慣れて友達もできました。みんなと仲良くして本当に楽しかったです。

いつも僕を手伝ってくれてありがとうございました。

僕にとってこの留学生活は大切な思い出です。

是非また能勢に行きます。あの時はまた会いましょう！

คาวฟาน
カオファン